

はじめに

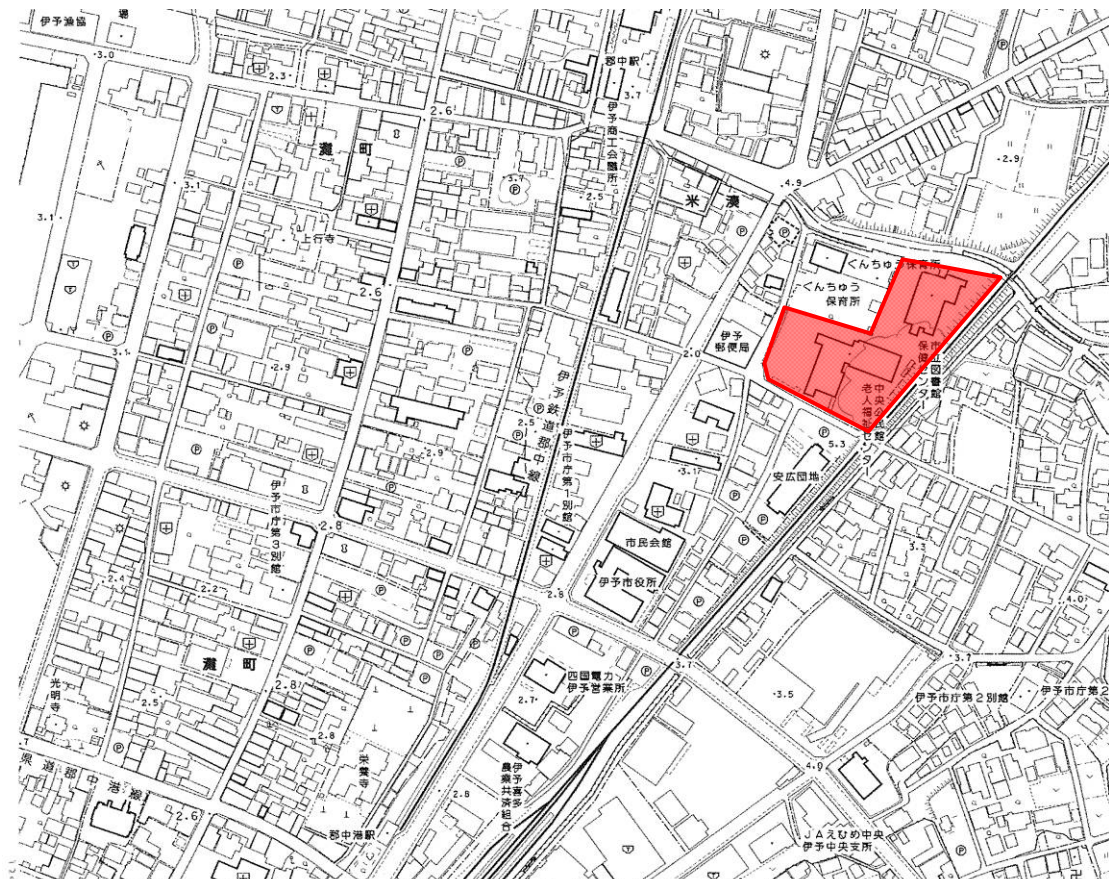
平成 17 (2005) 年 4 月 1 日、旧中山町、旧双海町、旧伊予市が合併して、新生「伊予市」が誕生しました。新生「伊予市」は新市建設基本計画の中で「参画と協働の郷(くに)づくり」を掲げており、未来を担う子どもたちから高齢者までの市民ひとりひとりが、自発的に参画し協働しあう機会による豊かなまちづくりを目指しています。

こうした背景のもと、本市の芸術文化・生涯学習の発展に資するため、特に子どもたちに、幼い頃から参画する機会を与えることが必要であると考えます。

こうした理由から、旧伊予市の中心市街地に近いこの地域(中央公民館・図書館・保健センター敷地)に、新たな複合型文化施設の建設を計画しました。JR 予讃線や伊予鉄道などの交通の利便性も高く、市庁舎に近いということより、市民の方々がたくさん訪れることが予想されます。

文化ホール・図書館・中央公民館などの機能を複合化し、文化振興の拠点とし、子どもから高齢者まで幅広い市民を対象に多様な講座や教室を提供し、より多くの市民が参画・協働できる環境づくりを目指します。

< 計画敷地：現 中央公民館・図書館・保健センター敷地 >



[1]中央公民館・図書館・保健センター敷地の利活用方針

1.基本理念

知を紡ぎ、伊予のひと・まち・文化を育む生涯学習の拠点 ～学び・集い・ふれあいによる新しいコミュニティの創造～

中心市街地の拠点の一つとして地域活性化に貢献すること

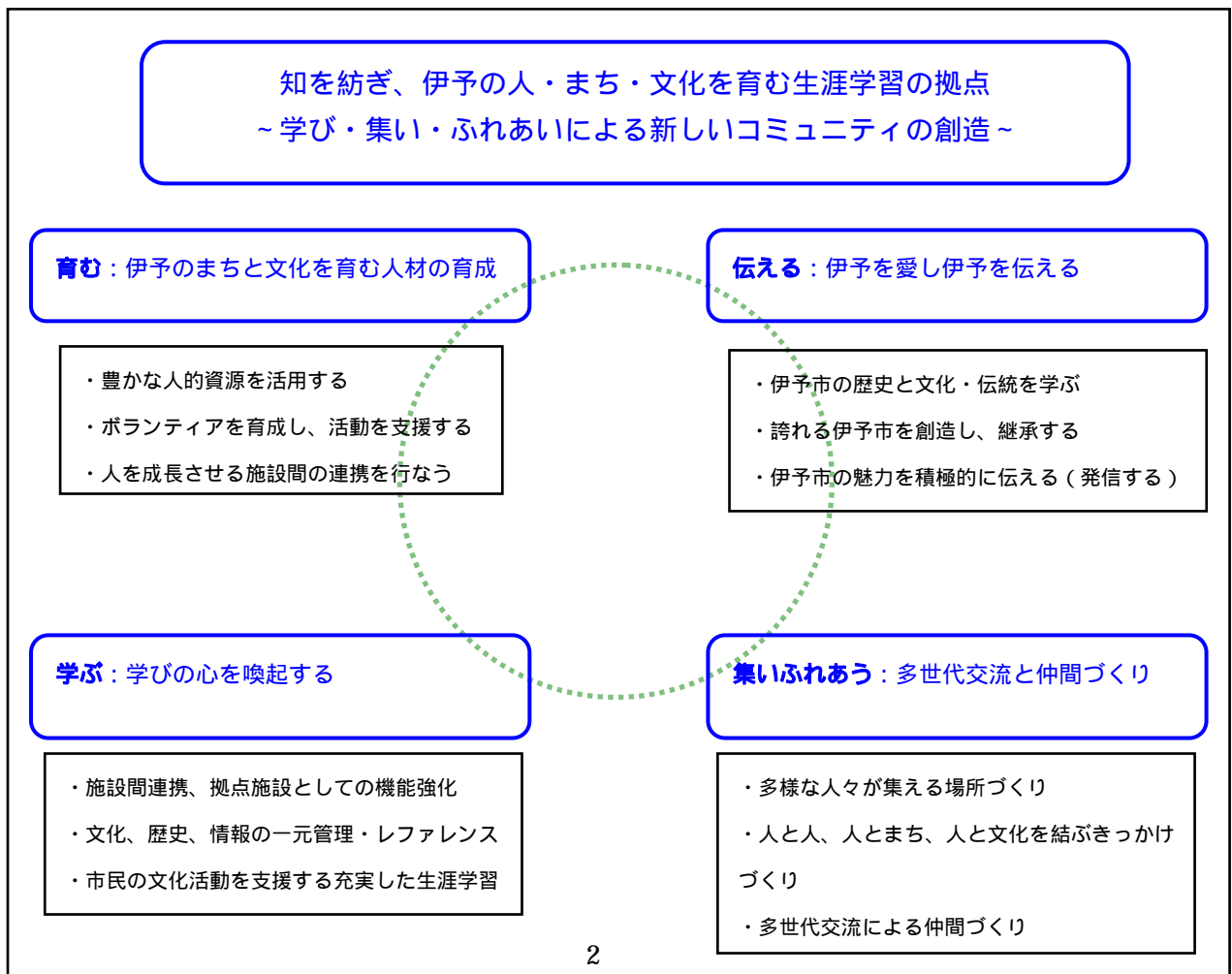
中心市街地におけるまちづくりの重要整備地区の一つとして、市庁舎や他の拠点と連携し、役割分担を担いながら、中心市街地活性化に資する都市機能の整備を進めます。

市民の生活・学習・文化活動を支え、市民が集いふれあう拠点となること

伊予市の中心市街地としての位置づけをふまえ、市民の生活や学習、文化活動等を支援する機能の集積を図り、市民が集い、ふれあう拠点として整備を行ないます。

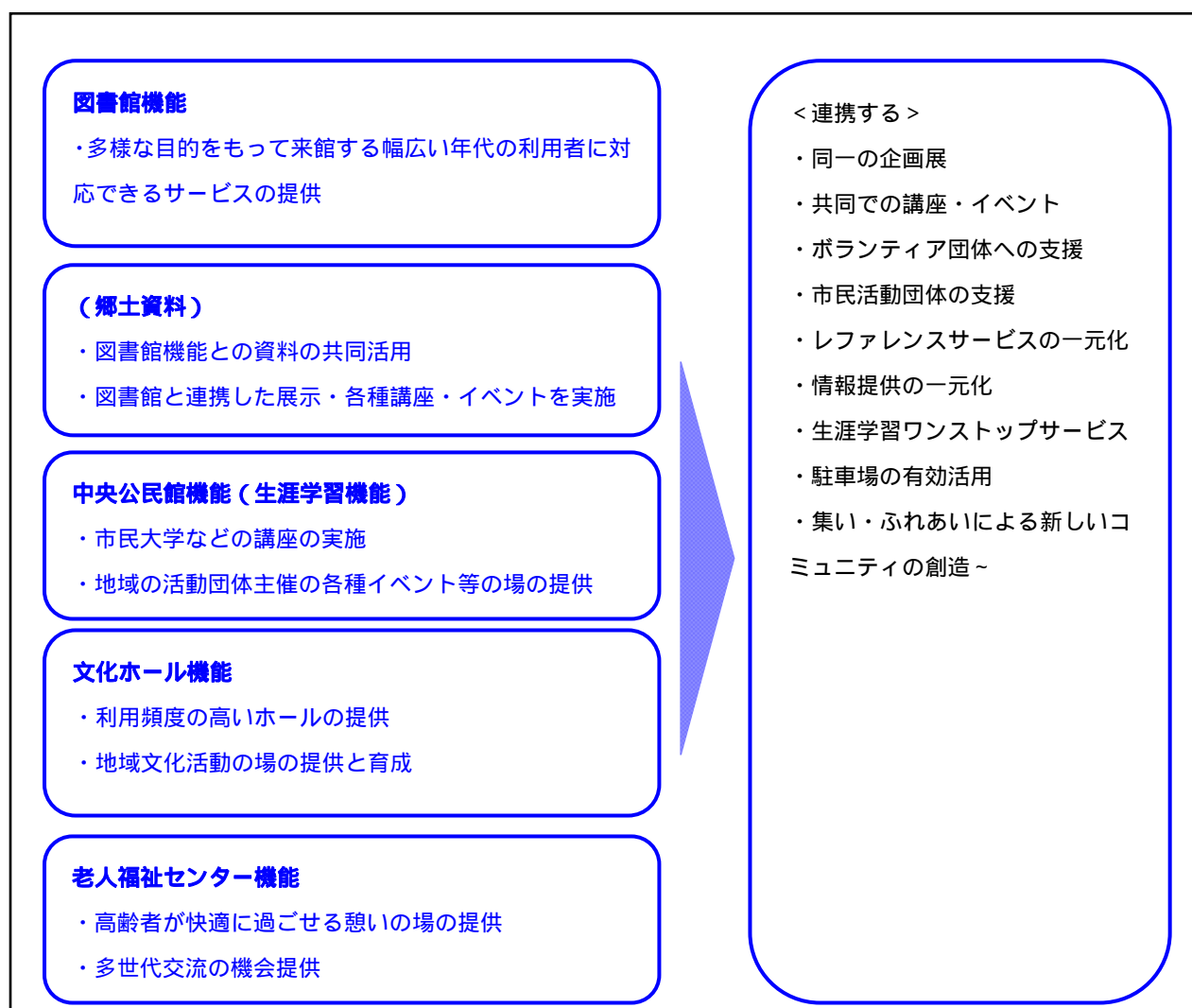
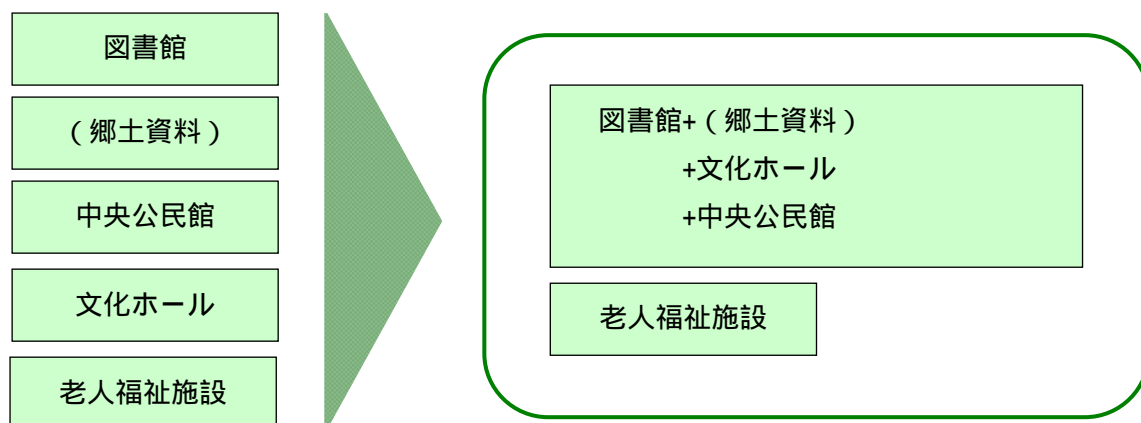
伊予のまちづくりとひとづくり

新たな地域の活力を創造するとともに、持続可能なまちづくりとそれを支えるひとづくりを支援するような整備を行ないます。



2. 整備の概要

「図書館機能」「郷土資料館機能」「公民館機能（生涯学習機能）」「文化ホール機能」を融合させ、併せて高齢者の生きがい施設である「老人福祉施設」を設けることにより、多様な目的で訪れる幅広い利用者の生涯学習ニーズに相応しい活動空間を提供し、新たな出会い・発見・交流の機会を創出する施設づくりを目指します。



3.複合化を活かした管理のあり方・サービスのあり方

複合化による相乗効果を最大限に発揮し、施設全体を効率的・効果的に管理運営する観点から、施設管理は一体的に行います。

施設の運営は、図書館・中央公民館（生涯学習）・文化ホール・老人福祉センター等の機能ごとに求められる専門サービスを扱う部門別組織を基本として、一元的なサービス提供のための横断的組織を設置して行います。